

一般会計予算決算常任委員会全体会審査日程

日時 令和4年5月27日（金）

午前10時

場所 議場

議案第36号 令和4年度山陽小野田市一般会計補正予算(第1回)について

審査 番号	項 目	出席者
①	議案第36号に係る各分科会長報告・質疑	委員のみ
②	議案第36号に係る討論・採決	委員・執行部

■分科会長報告概要■

	令和4年5月臨時会
	一般会計総務文教分科会
議 案 件 名	議案第36号 令和4年度山陽小野田市一般会計補正予算（第1回）について
担 任 事 項	総務文教常任委員会が所管する部分
論点又は審査 によって明らか になった事項	<p>【歳入】</p> <p>○19款 繰入金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財政調整基金繰入金 3億2,769万1,000円の増額 <p>【歳出】</p> <p>○2款 総務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1項9目企画費 1億3,103万円の増額 <ul style="list-style-type: none"> LABVプロジェクトに係る商工センター解体経費等 (内訳) 廃棄物処分業務委託料 200万円 商工センター解体事業負担金 1億2,903万円 <p>(主な質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「解体工事に係る地元説明は行っているのか」との質問に「これまで自治会の班回覧等でスケジュールの周知を行っており、今後、説明会を行う予定である」との答弁 * 「なぜ市が解体工事を行わないのか」との質問に「市が解体を行うと相当の期間を要するため、全体の工期を考え、事業パートナーに解体をお願いすると、事業パートナー募集時に明記した」との答弁 * 「解体費が増額となる可能性はあるか」との質問に「予測不可能な事案が生じる可能性を考え、見積額に15%上乗せして予算計上している」との答弁 * 「アスベストの撤去と処理について、きちんと確認しているか」との質問に「アスベスト撤去関連経費を含めて予算計上しており、国のガイドラインに基づき適正に取り扱う」との答弁 * 「3月定例会で市内事業者を積極的に活用するよう附帯決議を出しているが、どのように対応しているか」との質問に「市内事業者の活用については、事業パートナーにしっかり伝えており、動向を確認する」との答弁 * 「地質調査の結果、地下工事が必要となった場合の費用負担はどうか」との質問に「土地の出資をするに当たり、土地に瑕疵

	<p>があれば市の責任になる。事業パートナーとしっかり協議したい」 との答弁</p> <p>*「廃棄物処分について、使用できるものはどうするのか」との質問に「市の施設で、活用できるところに転用する」との答弁</p> <p>*「解体する建物面積が広いにもかかわらず平米単価が高く、マスマリットが効いていない。業者にヒアリングを行ったのか」との質問に「ヒアリングは行っていないが、質問事項を書面でやり取りした」との答弁</p> <p>*「解体前の事前調査を18軒行うとあるが、事後調査で補償が生じた場合のリスク分担はどうなっているのか」との質問に「事業課と協議してリスク分担の覚書を交わしたい」との答弁</p>
--	---

■分科会長報告概要■

	令和4年5月臨時会
	一般会計民生福祉分科会
議 案 件 名	議案第36号 令和4年度山陽小野田市一般会計補正予算（第1回）について
担 任 事 項	民生福祉常任委員会が所管する部分
論点又は審査 によって明らか になった事項	<p>【歳出】</p> <p>○2 款 総務費</p> <p>LABVプロジェクトで商工センターが解体され、公園通出張所が須恵地域交流センターの団体企画室に移転するに当たり、必要な予算を追加するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 項 23 目地域交流センター費 1,138 万 7,000 円の増額 須恵地域交流センターの駐車場を拡張し、団体企画室の代替となる交流室を改修するもの ・ 3 項 1 目戸籍住民基本台帳費 218 万 4,000 円の増額 須恵地域交流センターで出張所業務を行うための工事や備品購入等を行うもの <p>(主な質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「令和 3 年度の公園通出張所の利用者数は何人か」との質問に「5,512 人であり、1 日当たり約 23 人となる」との答弁 * 「障害者用駐車スペースは十分確保しているか」との質問に「設計時に必要な台数を検討したい」との答弁 * 「団体企画室は車椅子で出入り可能か」との質問に「特に支障はない」との答弁 * 「公園通出張所の移転をどのように周知しているか」との質問に「庁内でのチラシの配布や看板の設置、市広報への掲載、自治会の班回覧等での周知を考えている」との答弁 <p>○3 款 民生費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 項 11 目子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費 8,183 万 4,000 円の増額 新型コロナウイルス感染症の影響による子育て世代の雇用動向の悪化を鑑み、低所得の子育て世帯を見舞う観点から、給付金を給付するもの ・ 支給額は児童一人当たり 5 万円で、昨年度の給付実績からひとり親世帯の対象児童は 990 人、ひとり親世帯以外の子

育て世帯の対象児童は 430 人と見込んでいる。

- ・児童扶養手当又は児童手当若しくは特別児童扶養手当受給者で令和 4 年度分の住民税均等割が非課税のものは申請不要だが、それ以外の者は令和 5 年 2 月 28 日までに申請が必要である。

(主な質疑)

- * 「システム改修委託料を 1,000 万円とした根拠は何か」との質問に「予算を要求するときに制度の詳細が公表されていなかったため、令和 3 年度に同様の給付を行ったときの見積りを参考にした」との答弁
- * 「なぜ次の定例会を待たずに補正予算を提案したのか」との質問に「国が示したスケジュールでは、ひとり親世帯分は可能な限り 6 月までに支給することになっていたため、臨時会で提案した」との答弁
- * 「昨年度に同様の給付金があったが、申請が必要な者で実際に申請した者は何人か」との質問に「ひとり親世帯は 19 人、その他世帯は 18 人である。児童数はどちらも 29 人であった」との答弁
- * 「その際に申請が必要な者に対する呼び掛けは行っていたか」との質問に「幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校にチラシを配布した。それに対する反応があったので、制度を理解していただけたと考えている」との答弁
- * 「給付金を誤送金しないための体制はできているか」との質問に「支給が確定すると、再度振り込めなくなるシステムになっている。また、振込用紙を使用する際には、担当者が作成したものを上司がチェックしている」との答弁

■分科会長報告概要■

	令和4年5月臨時会
	一般会計産業建設分科会
議 案 件 名	議案第36号 令和4年度山陽小野田市一般会計補正予算（第1回）について
担 任 事 項	産業建設常任委員会が所管する部分
概 要	今回の補正は、雇用能力開発支援センターの改修経費を計上するもの。また、コロナ禍において、物価高騰等に直面する市民生活を支援し、地域における消費を喚起するため、商品券発行事業を実施するもの
論点又は審査 によって明らか になった事項	<p>【歳出】</p> <p>○5款 労働費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1項1目労働諸費 428万2,000円の増額 <ul style="list-style-type: none"> LABVプロジェクトに基づき小野田商工会議所が雇用能力開発支援センターに仮事務所を設置することに伴い、必要な箇所の改修を行うもの <p>(主な質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> *「今回の改修はもともと老朽化していた箇所を改修するのか」との質問に「借り手がなくそのままにしていたが、貸すことになったため、今回の移転に併せて修繕する」との答弁 <p>○7款 商工費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1項6目新型コロナウイルス対策費 3億6,678万9,000円の増額 <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響及び原油価格や物価の高騰に鑑み、市民生活を支援するとともに、地域における消費を喚起するため、市民や山口東京理科大生に商品券を配布する。 <p>(主な質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> *「5月臨時議会で上程した理由は」との質問に「物価の高騰もあり、できるだけ早く配布するため」との答弁 *「商品券の印刷は地元業者でできないか」との質問に「商品券改ざん偽造防止の措置を取っており、市内業者では大変時間が掛かるため、大手の印刷業者に発注している」との答弁 *「取扱店として飲食業、小売業、サービス業以外にその他が30店舗あるが、どういう店舗か」との質問に「多くは病院で、自動車学校もある」との答弁